

準用河川恩曾川洪水浸水想定区域図について

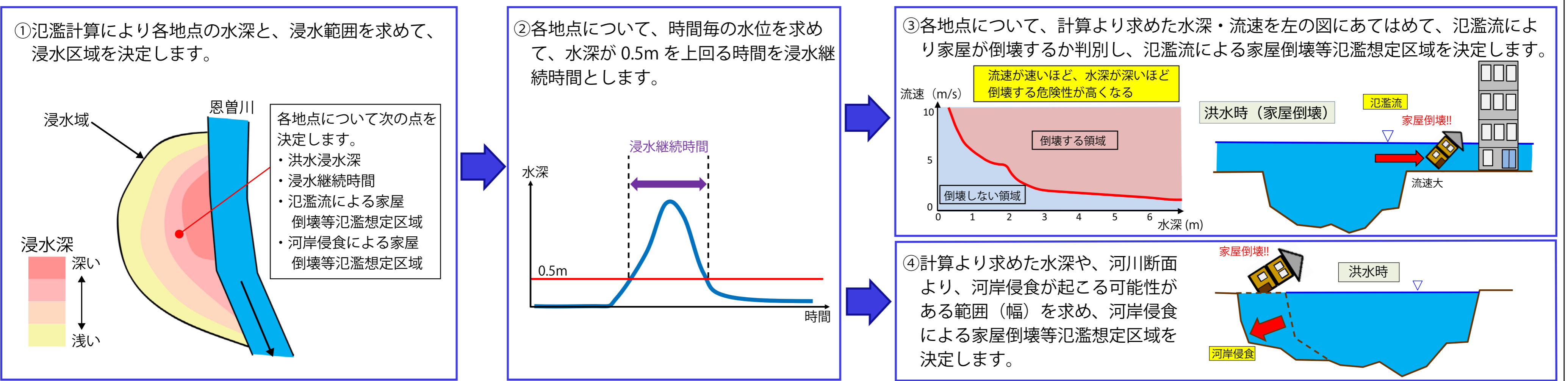
1 洪水浸水想定区域図について

- ①概要
近年、集中豪雨等による水害が頻発しており、短時間で河川が増水したり、堤防が決壊して甚大な被害が発生していることから、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、洪水時の被害を最小限にするため、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域、水深、浸水継続時間及び家屋倒壊等の区域を示すものです。
- ②目的
準用河川恩曾川については、水防法の指定河川ではありませんが、沿川に家屋が比較的多く点在し、病院、老人ホームなどが立地するとともに、下流部には商業施設や工場等が立地している状況であります。しかしながら、指定河川でないことから洪水浸水想定区域を公表していないため、市民の安心・安全を確保し、激化する水害に対処するため、施設では守りきれない事態を想定し、地域の危険度の確認や水害による被害の軽減を目的として、洪水浸水想定区域図を作成するものです。
- ③想定最大規模降雨とは
関東（降雨特性の似ている地域）において、過去に観測された最大降雨量により、降雨継続時間別、流域面積別の降雨量の最大値を算出します。この降雨量は、当該河川でも同様に発生すると考え、準用河川恩曾川における降雨継続時間と流域面積より、想定最大降雨量を算出するものです。
準用河川恩曾川は、80分の総雨量 179.6 mmです。
- ④降雨継続時間80分とは
流域の大きさ、降雨の特性、洪水流出の形態を考慮し、準用河川恩曾川流域に雨が降り始め、上流域から最下流域まで流れる間に途中の流域から流入してくる流出量によって徐々に増加し、最下流域に到達したときが洪水のピークを迎える時間です。

※ 準用河川恩曾川 河川延長 L = 7.16 km 流域面積 A = 12.49 km²

洪水浸水想定区域図は、国土交通省所管「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」に基づき作成しています。

2 洪水浸水想定区域の作成手順について



洪水浸水想定区域図 (計画規模) 1時間最大雨量 50mm ①	洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) 80分総雨量 179.6mm ②	洪水浸水想定区域図 【浸水継続時間 (想定最大規模) 80分総雨量 179.6mm】 ③	洪水浸水想定区域図 【家屋倒壊等氾濫想定区域図 (氾濫流) (想定最大規模) 80分総雨量 179.6mm】 ④	洪水浸水想定区域図 【家屋倒壊等氾濫想定区域図 (河岸侵食) (想定最大規模) 80分総雨量 179.6mm】 ⑤
<p>1 概要 計画規模の降雨があった場合の洪水浸水想定区域を表示した図面です。 洪水浸水想定区域図とは、河川が氾濫した場合に、皆様の地域でどの範囲がどれだけ浸水する恐れがあるのかを示した図です。 計画規模とは、現在、河川整備を進めている規模で、河川整備の目標とする降雨量として、おおむね5年以内に一度発生する降雨、1時間の最大雨量50mm(計画規模)が降ることを想定しております。 浸水深とは、浸水域の地面から水面までの高さをいいます。</p> <p>2 基本事項 (1)作成 平成29年5月 (2)対象となる河川 準用河川恩曾川 上流端:市道川との合流点 下流端:玉川との合流点</p>	<p>1 概要 想定し得る最大規模の降雨があった場合の洪水浸水想定区域を表示した図面です。 洪水浸水想定区域図とは、河川が氾濫した場合に、皆様の地域でどの範囲がどれだけ浸水する恐れがあるのかを示した図です。 想定最大規模降雨とは、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)」より算出し、80分の総雨量として179.6mmの雨が降ることを想定しております。 浸水深とは、浸水域の地面から水面までの高さをいいます。</p> <p>2 基本事項 (1)作成 平成29年5月 (2)対象となる河川 準用河川恩曾川 上流端:市道川との合流点 下流端:玉川との合流点</p>	<p>1 概要 想定し得る最大規模の降雨があった場合の浸水継続時間を表示した図面です。 氾濫水が到達後、屋外への避難が困難となり孤立する可能性のある浸水深である0.5mに達してから、その水深を下回るまでにかかる時間を示すものです。 想定最大規模降雨とは、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)」より算出し、80分の総雨量として179.6mmの雨が降ることを想定しております。</p> <p>2 基本事項 (1)作成 平成29年5月 (2)対象となる河川 準用河川恩曾川 上流端:市道川との合流点 下流端:玉川との合流点</p>	<p>1 概要 想定し得る最大規模の降雨があった場合の家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。 河川が越水することによる住宅地等へ流れ込む氾濫流により、家屋(木造)が倒壊・流出する恐れがある範囲を表した区域の目安を示すものです。 想定最大規模降雨とは、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)」より算出し、80分の総雨量として179.6mmの雨が降ることを想定しております。</p> <p>2 基本事項 (1)作成 平成29年5月 (2)対象となる河川 準用河川恩曾川 上流端:市道川との合流点 下流端:玉川との合流点</p>	<p>1 概要 想定し得る最大規模の降雨があった場合の家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。 河岸が侵食された場合における家屋(木造・非木造)の倒壊・流出の危険性がある区域の目安を示すものです。 想定最大規模降雨とは、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)」より算出し、80分の総雨量として179.6mmの雨が降ることを想定しております。</p> <p>2 基本事項 (1)作成 平成29年5月 (2)対象となる河川 準用河川恩曾川 上流端:市道川との合流点 下流端:玉川との合流点</p>
<p>準用河川恩曾川洪水浸水想定区域図(計画規模)1時間最大雨量50mm ①</p>	<p>準用河川恩曾川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)80分総雨量179.6mm ②</p>	<p>準用河川恩曾川洪水浸水想定区域図【浸水継続時間(想定最大規模)80分総雨量179.6mm】③</p>	<p>準用河川恩曾川洪水浸水想定区域図【家屋倒壊等氾濫想定区域図(氾濫流)(想定最大規模)80分総雨量179.6mm】④</p>	<p>準用河川恩曾川洪水浸水想定区域図【家屋倒壊等氾濫想定区域図(河岸侵食)(想定最大規模)80分総雨量179.6mm】⑤</p>

3 活用方法について

- 河川施設などの整備では守りきれない想定し得る最大規模の降雨があった場合に、ご自身の地域やご自宅付近がどの程度浸水するか、どの程度の家屋倒壊等の恐れがあるか確認をしていただき、水害に対する危険性を事前にお知らせするものです。
- 今後は、この情報を洪水浸水ハザードマップや地域防災計画へ反映し、市民の安心・安全を図ってまいります。

ご自分の地域やご自宅付近で、どの程度の浸水になるか、どの程度の家屋倒壊等の恐れがあるか、この洪水浸水想定区域図で確認してください。

準用河川恩曾川洪水浸水想定区域図について、詳しくお知りになりたい場合は、都市整備部河川ふれあい課(電話 046-225-2380)に図面がありますのでお問合せください。